



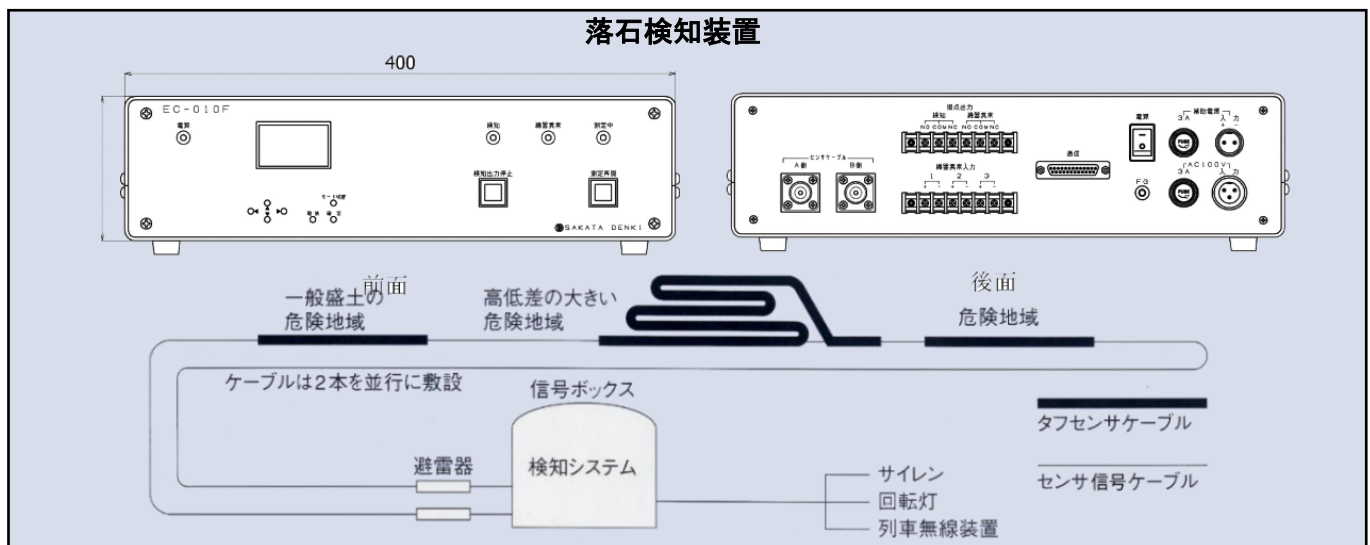
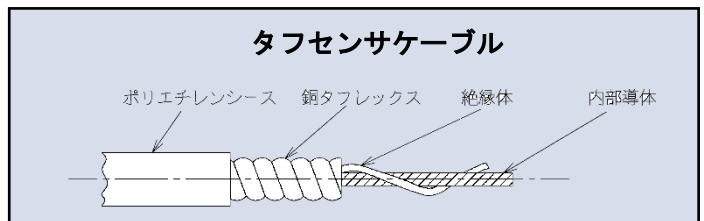
地すべり観測機器

タフセンサ式 盛土・のり面崩壊検知システム

タフセンサケーブルは、盛土、のり面崩壊検知システム用のセンサケーブルで、土砂崩壊あるいは落石などによるケーブルの変形（つぶれ・曲げによる内外導体の接触および切断）を検知装置により検出します。

特長

- センサ信号ケーブルの両端から検知します。
- 線状センサであるため広範囲（最長 2km の設置範囲）に計測が可能で、崩壊位置を約 20mの精度で表示します。
- ケーブルの敷設作業が容易なため、設置性に優れています。
- 検知区域（タフセンサ）と非検知区域（敷設ケーブル）に分けて計測可能なため、経済的で高い信頼性があります。
- 各種信号通信システム（有線、無線、携帯電話、衛星通信など）により、各種警報装置（サイレン、回転灯、列車無線装置など）の接続が可能です。
- 5秒以下の周期で常時監視が可能です。
- ケーブルは埋設設置、防護壁への取付けが可能で、耐用年数は約 10年です。
- 機器の動作確認メンテナンスが、検知装置から可能です。
- 自己診断機能で、機器異常時も信号出力が可能です。



名称	タフセンサケーブル
型式	SC-SDT
シース材質	ポリエチレン
外径	約12.7mm
外部導体	銅タフレックス
絶縁体	ポリエチレン
内部導体	軟銅線
線外径	約2mm

名称	落石検知装置
型式	EC-010F
検知距離	1,500m
検知精度	20m
検出箇所	2カ所まで
電源	AC100V
許容温度範囲	-10～50℃
外形寸法	400 (W) × 260 (D) × 106 (H) mm
重量	8kg